



▲手押し車や車いすを丁寧に掃除する生徒たち。

小工高生徒の老人ホーム訪問

11月18日、小野田工業高校定時制の生徒約30人が、小野田老人ホームを訪れてボランティア活動を行いました。これは体験的な学習を重視する同校で、人権教育の一環として実施しているものです。生徒たちは4グループに分かれて、配膳・食器洗い、窓拭き、車いすとベッド清掃、フロア清掃の作業を分担し、ホームの人たちの「ありがとう」の言葉に照れながらも、心を込めて作業に取り組んでいました。



▲“宇宙見物”を終えた子どもを母推さんがお出迎え。

ミニ運動会

10月21日、就学前の子どもと一緒に親子で楽しめるミニ運動会が、市民体育館で開催されました。万国旗が飾られた館内には軽快な音楽が流れ、集まった約250人の参加者は気分も上々。星や宇宙船が眺められるダンボールのトンネルまでワープする「さあ！宇宙へいこう」など、母子保健推進員さんたちの手作り競技4種目に、あちこちから歓声があがっていました。



▲終始笑いの絶えなかったダニエルさんの講演。

市民文化講演会

11月13日、タレントのダニエル・カールさんを講師に迎えた市民文化講演会が、市民館で開催されました。英語指導の助手として、山形県の学校で授業を行った経験をもつダニエルさん。その時に身に付けた山形弁で、雪国・山形の四季の素晴らしさを大いに語り、「山形に限らず、全国どこでも歴史があり、文化があります。一緒にふるさとのよいところを大きな声で自慢してみませんか。」と、講演を締めくくりました。



▲クラスメートの職場体験の様子取材する原田君（左）

中学生職場体験

11月9・10日の2日間、高千帆中学校2年生の生徒が職場体験学習を行いました。市広報の制作現場を訪ねてくれたのは、原田諒君。クラスメートが働いているスポーツ店を取材し、原稿書きからパソコンでの編集作業までを体験してもらいました。「カメラが上手く使えてうれしかった。文を書くのが苦手だから、記事を書くのに苦労しました。」と作文に明け暮れた2日間に少し疲れ気味の様子。でも原田君の作った広報紙、なかなかの出来映えでしたよ。